用意するもの

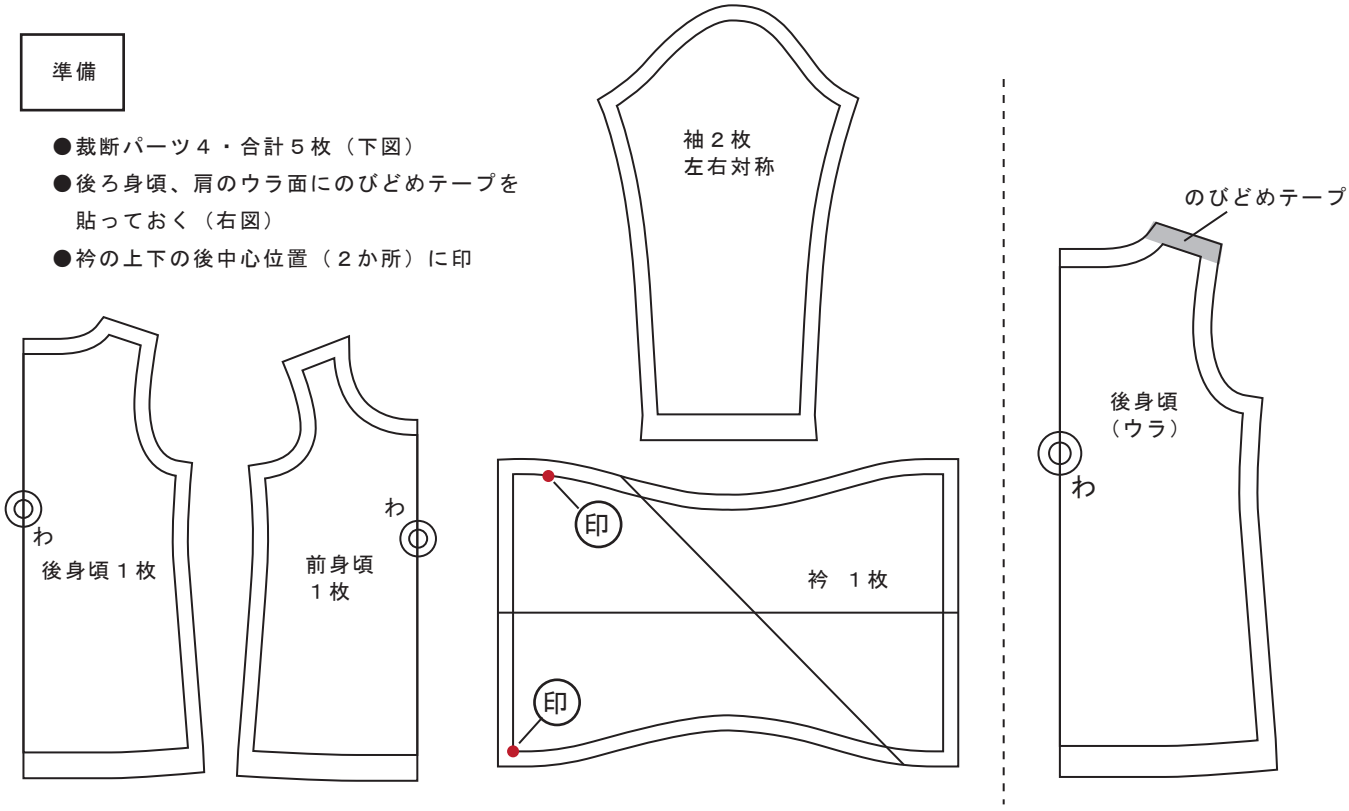
●ニット生地
中肉程度の裏毛や天竺などが合います。
140cm 巾　S（1.3m）・M（1.3m）・L（1.4m）

●衿用布帛素材　0.9m（３サイズ共通）

●のびどめテープ
少々

準備

●裁断パーツ４・合計５枚（下図）
●後ろ身頃、肩のウラ面にのびどめテープを貼っておく（右図）
●衿の上下の後中心位置（２か所）に印



準備

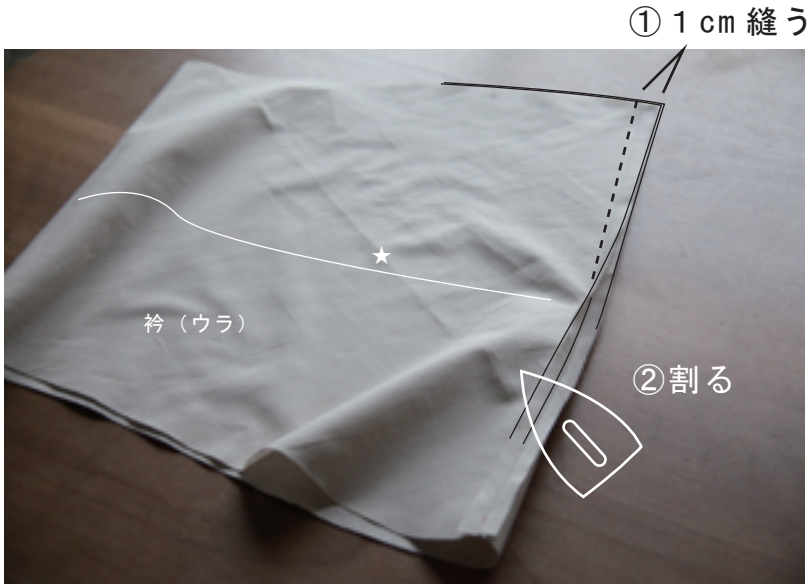
後身頃の肩にのびどめテープを貼ります。

衿の上下に「後中心」位置がズレてあるので、それぞれ印をします。（２か所）

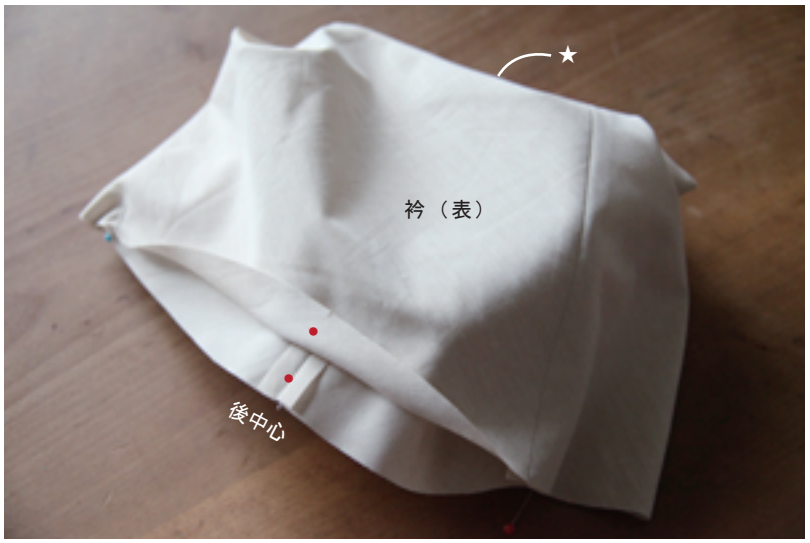
肩縫い

前後の肩を中表に合わせて１cm で縫い合わせます。縫い代は２枚合わせて
前身頃側を上にしてロック始末し、後身頃側に倒します。

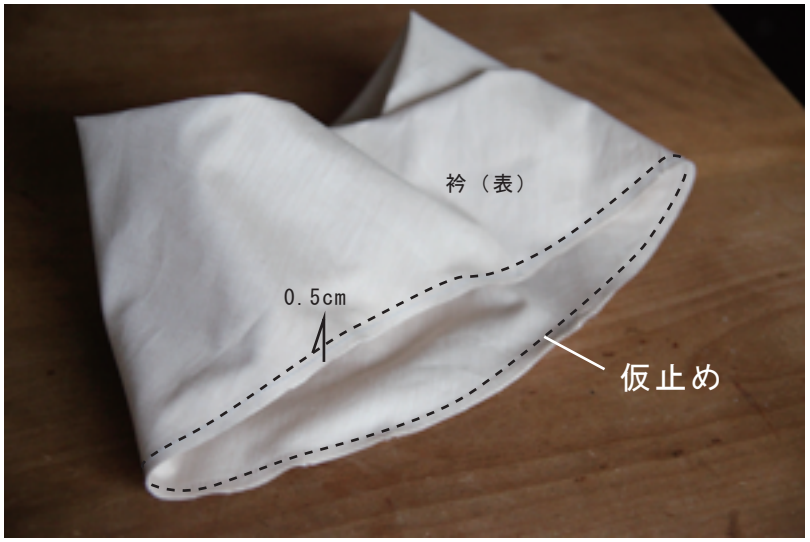
衿



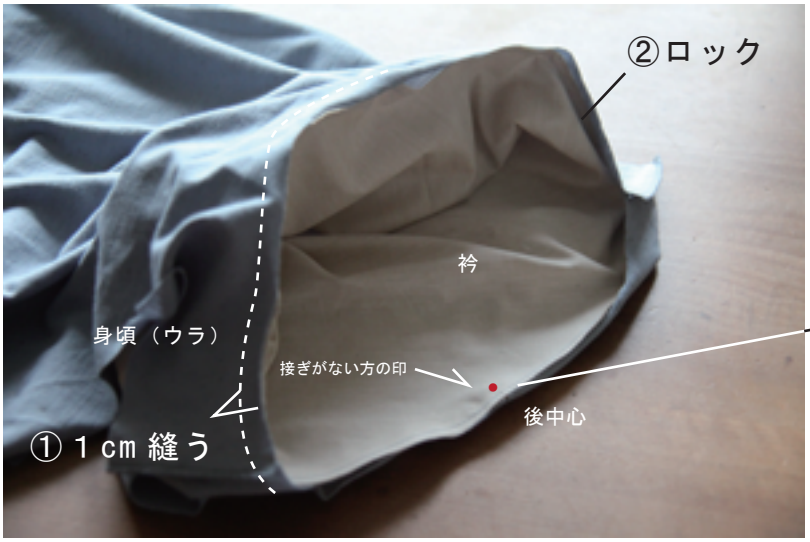
衿の後中心側を中表にして、１cm で縫い合わせます。縫い代は割ります。



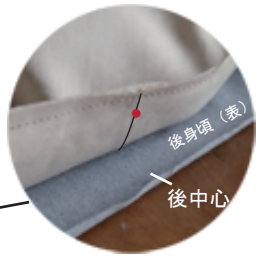
★印でふわりと折って、表に返し、後中心（印）同士を合わせます。
（衿がねじれた状態になる）



その状態で、ぐるっと仮止めしておきます。

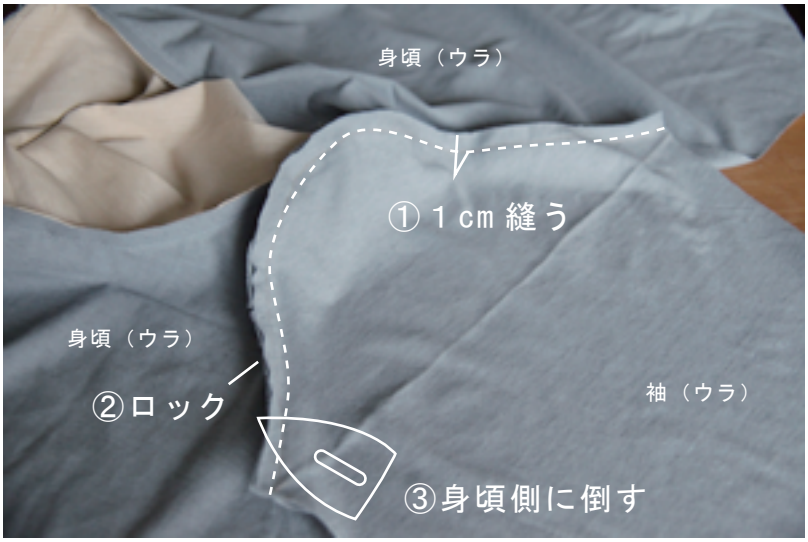


接ぎのある方の印が、
身頃の後中心と、中表に
なるように合わせる。



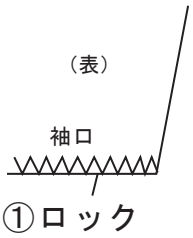
衿と身頃を中表に合わせて１cm で縫い合わせます。衿の印は身頃の後中心に合わせます。（接ぎのある方の印を後身頃（表）と合わせます）縫い代は衿を上にしてロック始末。

袖つけ

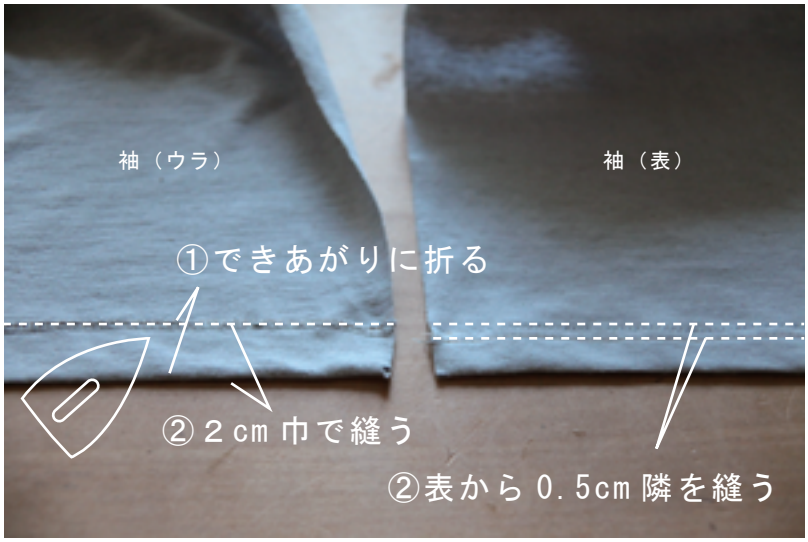


袖と身頃のアームホールを中表に合わせて１cm で縫い合わせます。縫い代は袖側を上にしてロック始末し、身頃側に倒します。

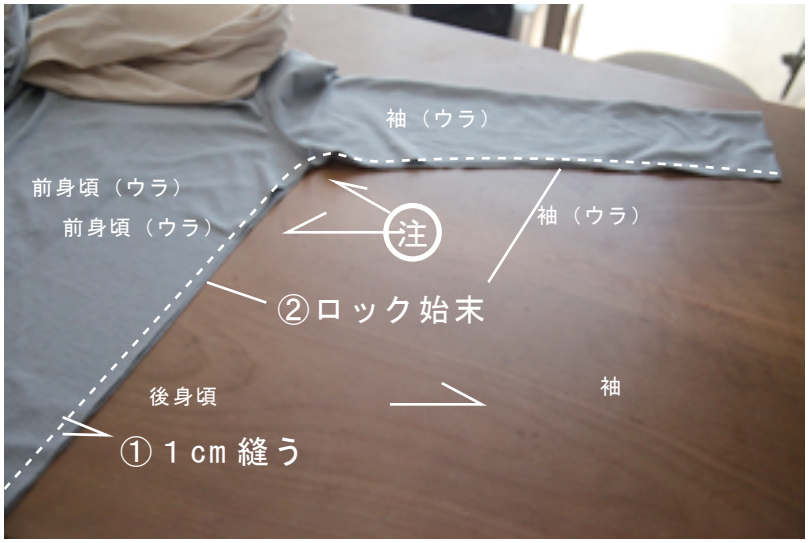
袖口



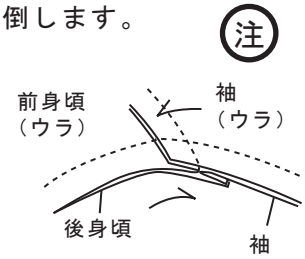
最初に袖口を
生地の表側から
ロック始末



アイロンでできあがりに折り上げ、まず裏側から、縫い代端を、ロックの糸を拾うようにステッチ始末。表に返し、今縫ったステッチの 0.5cm 内側を縫ってWステッチにします。



注意の部分。
縫い代をたがいちがいに倒して、厚みを分散。
前身頃側の縫い代は身頃側に倒し、後ろ身頃側の縫い代は袖側に倒します。



袖下～身頃裾までを前後中表に合わせ、１cmで縫い合わせます。脇下部分は縫い代を互い違いに倒して縫います。縫い代は前身頃を上にしてロック始末。

裾始末と仕上げ

縫い代は後ろ身頃側に倒し、袖と同様に、身頃裾を生地の表側からロック始末、できあがりに折り上げて、Wステッチ始末。最後に袖口も、後ろ袖側に倒して、縫い代に止めミシンを入れて完成です。